

| 通番 | カテゴリ | 質問内容                                                                                                                                  | 回答                                                                                                                             |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 0  | 1.生活 | 骨粗鬆症健診、喀痰健診の実施は、契約上必要でしょうか。                                                                                                           | 必要です。自院にて検査を行えない場合は、再委託することが可能です。                                                                                              |
| 1  | 1.生活 | 一般健診・付加健診の健診総額（自己負担率含む）や検査項目に変更はあるのでしょうか。                                                                                             | 要領及び要領別紙8をご覧ください。                                                                                                              |
| 2  | 1.生活 | 一般健診(若年)の検査総額・補助額・自己負担額（率）を教えてください。                                                                                                   | 要領別紙8の「1 節目健診・一般健診共通項目（消費税込）」でお示しする「胸部を実施し、胃部のみ実施しない場合」の金額から、同「5 一部の検査項目を実施しなかった場合」に記載の「糞便検査（免疫便潜血反応検査）」（2回分）の金額を減額したものととなります。 |
| 3  | 1.生活 | 喀痰細胞診の検査総額・補助額・自己負担額（率）を教えてください。                                                                                                      | 要領別紙8の「1 節目健診・一般健診共通項目（消費税込）」をご覧ください。                                                                                          |
| 4  | 1.生活 | 骨粗鬆症健診の検査総額・補助額・自己負担額（率）を教えてください。                                                                                                     | 要領別紙8の「3 乳がん・子宮頸がん・骨粗鬆症健診（消費税込）」をご覧ください。<br>測定部位について、注記(注2)がございますので併せてご覧ください。                                                  |
| 5  | 1.生活 | 新たに始まる人間ドック骨密度等オプションの協会けんぽ様補助額。受診者様の最高額を教えてください。<br>骨密度の測定部位についても教えてください。（当院では腰椎及び大腿骨を測定）                                             | 要領別紙8の「3 乳がん・子宮頸がん・骨粗鬆症健診（消費税込）」をご覧ください。<br>測定部位について、注記(注2)がございますので併せてご覧ください。                                                  |
| 6  | 1.生活 | 当センターの骨密度健診はDXA法（前腕撮影）となっております。<br>骨粗鬆症健診の検査条件を満たしているのでしょうか。                                                                          | 問題ありません。但し、費用請求はSXA法として（検査結果もSXA法の欄に）登録してください。                                                                                 |
| 7  | 1.生活 | 喀痰検査の対象は、すでに禁煙している方や肺がん既往ありの方、呼吸器疾患ありの方も対象になりますでしょうか。                                                                                 | 年齢条件、喫煙指数条件を満たし、本人が希望された場合は、既往症や医師の判断にかかわらず対象となります。                                                                            |
| 8  | 1.生活 | 喀痰検査の検査除外条件に胸部X線検査で病変（肺がんを疑う所見・その他感染症）が発見されない者とされているが、こういったことは考慮せず、今回実施指定のある喀痰細胞診は、50歳以上の喫煙指数600以上かつ本人の希望がある方には全員実施するという認識でよろしいでしょうか。 | 上に同じです。                                                                                                                        |
| 9  | 1.生活 | 喀痰細胞診の実施は、人間ドック健診・一般健診・付加健診のすべてに適用されますでしょうか。                                                                                          | 一般健診及び節目健診の受診者に適用されます。                                                                                                         |
| 10 | 1.生活 | 喫煙指数の報告は、喫煙者全員必要ですか？<br>喀痰細胞診受診者のみでしょうか？                                                                                              | 喀痰細胞診実施者のみご報告ください。（未実施者に喫煙指数を入力すると健診ソフトでエラーが発生します。）                                                                            |
| 11 | 1.生活 | 喀痰検査が追加になったが、検体が出せない若しくは材料不適の場合、尿沈渣と同じように理由の記載が必要か？<br>また、必要な場合はどのような文言にすればよいか？                                                       | 理由の記載は必要ありません。（一般健診・節目健診の検査項目のため、人間ドック健診と異なり、未実施となっても理由の記載は求めておりません。）                                                          |

| 通番 | カテゴリ   | 質問内容                                                                                                                                | 回答                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12 | 1. 生活  | 喀痰検査の検査方法に指定はあるでしょうか。                                                                                                               | 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（厚生労働省）を参照してください。                                                                                                                                                                                                       |
| 13 | 1. 生活  | 骨粗鬆症健診について、人間ドックとの併用ができるのか（併せて、乳がん・子宮がん検診の併用についても伺いたい。）                                                                             | 骨粗鬆症検査は、一般健診及び節目健診の受診者が対象となるため、ドック健診との補助の併用は不可です。<br>なお、これはドック受診者が骨粗鬆症健診を受診できないというものでなく、協会ドックと併せて（協会の補助枠とは別枠で）健診機関所定の料金/検査方法で当該検査を実施することは差支えありません。<br>ただし、この際に『協会の補助の範囲、骨粗鬆症検査の料金』などについて、受診者に丁寧な説明をお願いいたします。<br>また、乳がん健診・子宮がん検診の補助についても、考え方は同様です。 |
| 14 | 1. 生活  | 上記について、ある一定の条件の方（節目健診対象の40代偶数年齢の女性等）は人間ドック健診の補助額25,000円よりも『節目健診＋乳がん検診＋子宮がん検診』の組合せの方が補助額が大きくなるが問題ないのか（20,497円＋4,047円＋2,493円＝27,037円） | 問題ありません。基本的な考え方として『協会の推進する被保険者の健診は、生活習慣病予防健診である』ことに変わりはなく、ドックについては『より多様化する加入者ニーズに対応する』ために設けたサービスです。<br>なお、一般健診・節目健診を利用して人間ドック（≠協会ドックでなく自機関ドック）を受診する、いわゆる差額ドックについても引続き運用いただけます。ただし、受診者にとっては、サービス・検査項目・料金が複雑になるため、丁寧な説明が必要です。                       |
| 15 | 1. 生活  | 一般健診の胃部エックス線検査の取扱いについて                                                                                                              | 一般健診の補助対象者範囲が35歳～74歳から20歳～74歳（20～34歳までは5歳刻み）に拡大するにあたって、胃部エックス線検査・糞便検査のいずれも20歳、25歳・30歳の者には実施しません。また、35歳から39歳の者については、検査の省略を可とします。                                                                                                                   |
| 16 | 2. ドック | 人間ドックの健診内容について、必須項目が入っていれば、それぞれの施設において既存の1日ドックのコースでもよいのでしょうか（当院のドックには、PSAや肝炎ウィルス検査もコースに含まれています。）                                    | 差し支えありません。但し、あくまで協会補助はお示ししている検査項目（基本項目・オプション項目）に対してのものととなります。貴院の1日ドックコースの中に含まれている当該検査項目以外の検査項目にかかる費用については受診者の全額負担扱いの位置づけとなります。また、協会人間ドックの検査項目にはないが、生活習慣病予防健診の検査項目にはあるもの（例：骨粗鬆症検診）については、実施されたとしても報告や費用の請求に含めないようにしてください。                           |

| 通番 | カテゴリ   | 質問内容                                                                                                                                  | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17 | 2. ドック | 人間ドックの補助額についてですが、当日検査を実施されない項目が発生した場合はそれに伴って補助額も変更されますでしょうか。                                                                          | まず、本人都合等により当日検査を実施しない項目がある場合は、協会けんぽ人間ドックとして認められません。<br>また、予約受付時には、すべての項目を実施できる日を選定してください。<br><br>健診受診当日に、医師の判断及びやむを得ない理由により検査を実施できない項目が発生した場合は、当該項目の検査を別の日に実施するよう調整してください。<br>日程調整がつかなかった場合は、当該検査項目を未実施とすることができますが、その場合に未実施減額を実施するかどうか、また実施する場合の減額金額を健診機関様においてご判断いただくことになります。<br>未実施項目がある場合に減額を実施される場合は、減額後の基本項目の金額とオプション項目の金額の合計に応じて、最大25,000円を補助いたします。(減額後の基本項目の金額とオプション項目の金額の合計が25,000円に満たない場合は、減額後の基本項目の金額とオプション項目の金額の合計が補助額となります。) |
| 18 | 2. ドック | 人間ドックの未実施理由のデータ出力先があるが、未実施の検査項目まで入力しないといけないのでしょうか。<br>以下に例を記載していますが、どのような記載が望ましいでしょうか。<br>(例)<br>「自己都合のためキャンセル」 or 「自己都合のため結果説明キャンセル」 | まず、当日検査を実施できない項目が生じた場合は、当該項目の検査を別の日に実施するよう調整してください。<br>医師の判断及びやむを得ない理由により結果として検査を実施できなかった場合は、未実施理由の適否の確認のため、未実施項目及び理由を必ず記載してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 19 | 2. ドック | 人間ドック健診の中止項目について                                                                                                                      | 要領別紙8の「1 節目健診・一般健診共通項目（消費税込）」及び「5 一部の検査項目を実施しなかった場合」に記載の基準（医師の判断及びやむを得ない理由により検査を実施できなかった場合）と同じ扱いとなります。<br>人間ドック健診の場合、未実施項目について減額を行うかどうか、減額を行う場合の減額金額は健診機関様においてご判断ください。                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 20 | 2. ドック | 医師による診察（胸部聴診、頸部、腹部触診など）もれなく行うこととなっているが、2025年度の健保連人間ドック健診項目には、施設の実情を踏まえた効率的な運用を認めるとあるが胸部聴診、頸部、腹部触診は必須でしょうか。                            | 当該注釈（診察・説明・指導は、施設の実状を踏まえた効率的な運用を認める。）は診察・説明・指導のうち2点以上を医師が行う場合のことを想定していると考えられます。また、医師診察について「胸部聴診、頸部・腹部触診など」と、診察行為の例としてこの3点が列挙されていることから、胸部聴診、頸部・腹部触診は必須となります。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 21 | 2. ドック | 受診者の郵便番号・住所・電話番号の入力は必須でしょうか。（データ出力先あり）                                                                                                | 当該欄は令和9年度において使用するために準備したものです。<br>令和8年度においてはスペースまたは空文字で入力してください。（入力されていた場合は、健診ソフトにて置換します。）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 通番 | カテゴリ   | 質問内容                                                                                                                                                                                              | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 22 | 2. ドック | ドック健診の減額についてのデータ出力先があるが、ドック健診は減額がないため、どの料金を報告する必要があるのでしょうか。                                                                                                                                       | 未実施減額を実施されない場合は、「人間ドック未実施時の基本項目の金額（税込）」への金額登録は必要ありません。                                                                                                                                                                                                               |
| 23 | 2. ドック | 尿検査・便検査について、人間ドック健診には必須項目となっておりますが、もし検体未提出の場合は人間ドック健診の補助対象外となるのでしょうか。<br>当センターでは、受診当日に尿・便検査による検体の提出ができない場合、原則受診日から一週間期限を設定し、その期限内で提出して頂くよう案内しております。<br>ただし、この期限を過ぎても提出されない方に関しては、キャンセル処理を行っております。 | お訊ねのケースに関しては、医師の判断により未実施とされた場合は人間ドック健診の補助対象としていただいて構いません。ただし、未実施項目に関する理由（「期限内に検体が提出されなかったため」等）の記載を必ず行ってください。                                                                                                                                                         |
| 24 | 2. ドック | 人間ドック健診の項目の中で血液型検査があるが基本的に血液型は後天的に変わることは考えにくいとため、初回受診者のみ実施としたいが、公開されているQ&Aには、受診者からの申出がない限り毎年必ず実施することとある。<br>必要性の低い検査を毎年しないといけないのは、医療施設としても負担が大きくなってしまうため何か対策はないか。                                 | 血液型検査の実施の意思を当日確認するのではなく、問診票で事前に回答いただくなど、運用面での対応が可能と思われます。その際には、<br>・本人の申し出により検査を実施する、のではなく、<br>・本人の申し出により検査を省略する、ような（血液型検査を実施することがデフォルトとなるような）質問としていただきますようご注意ください。                                                                                                  |
| 25 | 2. ドック | 人間ドック健診における特定保健指導について                                                                                                                                                                             | 「健診当日の初回面談を実施できる体制を備えていること」が条件であり、当日実施が必須となります※。<br>健診予約時や受診前に、健診機関様より保健指導まで受けることが必須である旨のご説明をお願いします。<br>※受診者のやむを得ない事情により後日または当日分割で実施する場合は下記の取扱いとなります。<br>・事業所を通して後日訪問により実施する場合は、共同利用の照会が必要です。<br>・当日分割または後日来院にて実施する場合は、人間ドック健診の請求時に「特定保健・指導予定者名簿（契約書様式）」の提出が必要となります。 |
| 26 | 3. 指導  | 特定保健指導の実施率向上させるためにも、健診当日にスムーズに実施できるよう、日々奮闘しております。<br>それに関する質問ですが、初回面談の分割実施1回目を診察時に医師が行うとしても、特定保健指導の初回面談として成立させても良いのでしょうか？                                                                         | 初回面談の分割実施1回目では、専門職（医師、保健師、管理栄養士）が初回面談を行い、行動計画を暫定的に作成することとなっております。行動計画を暫定的に作成していただければ、医師が実施しても構いません。（厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第4.2版）」P.23参照）                                                                                           |

| 通番 | カテゴリ  | 質問内容                                                                                                                                          | 回答                                                                                                                                                                           |
|----|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 27 | 3. 指導 | 人間ドックの事業には特定保健指導の契約が必須とされていますが、人間ドック対象者以外のすべての生活習慣病予防健診を受診された方が指導の対象となるかと思いますが、保健師のマンパワーの観点から受け入れの不安がございます。<br>すべての保健指導対象者へ実施が契約の条件となるのでしょうか。 | 人間ドック健診受診者の特定保健指導対象者は、健診当日に実施することが必須ですが、生活習慣病予防健診受診者の対象者は必須ではありません。徐々に生活習慣病予防健診受診者の健診当日実施も拡大していけるよう前向きにご検討ください。                                                              |
| 28 | 3. 指導 | 特定保健指導委託契約ですが、今後、契約を希望する場合の運用手順等を教えていただきたいです。                                                                                                 | 特定保健指導業務の受託申請書等の提出書類一式をご提出いただき、特定保健指導が実施可能な体制を有しているかを審査させていただきます（健診機関説明会資料2 P.16参照）。<br>特定保健指導実施のための体制整備に必要な事項をご提示していますのでご参照ください（健診機関説明会資料2 P.23）。<br>また、協会けんぽまでお気軽にご連絡ください。 |